

桜カミ丘



二分の一「二十歳の集い」【4年生】



二分の一「二十歳の集い」で証書を受け取る子どもたちの姿は、2年後の卒業式を想起するぐらい、立派でした。家族や周りの人への感謝と今後の希望を述べた呼び掛けの言葉を聞き、家族の方々はお子さんの成長を感じられたのではないのでしょうか。本番に向けてグループ練習を繰り返している様子から、当日家族の方々の前で堂々とした姿を見てもらいたいという思いが伝わってきておりました。最後の家族からの手紙を読んでいただく時間には、涙ながらに手紙を読む家族の姿や涙を流しながら聞く子どもの姿がありました。温かな空気に包まれた大変幸せな時間となった「二分の一「二十歳の集い」でした。二十歳の集いまでの十年の中で、子どもたちが大いに夢を語ってくれることを期待しています。

今年度最後の「すてきな松崎っ子」

友達が係の仕事を手伝ってくれてうれしかったことなど、何気ない優しさを感じた人や、清掃場所にすばやく集まっていることなど、いい行動をしている人に気付く人がいました。友達や他学年の人のすばらしいところを発見できるという心や素直に相手の優しさに感謝する心がどの子にも育っていると感じました。



卒業式に向けて ～合唱練習～



卒業式で在校生が歌う「大空がむかえる朝」は、ゆったりとしたメロディーにやさしさが伝わる言葉をのせた曲です。指導をしていた川上先生の「うまい。」が聞けると、子どもたちはますますいい表情で歌えるようになっていきました。魔法にかかったように、どんどんすばらしい二部合唱に仕上がっていく様子に感動すると同時に、6年生に「今までありがとうございます。」という気持ちで歌を伝えたいんだという子どもたちの思いを感じました。校歌も君が代もこれからもっと練習して、卒業式には精一杯の歌声で6年生を送りたいと思います。